

科目名 小児看護援助論Ⅱ	授業担当者 秋山 祥子	所属 中通高等看護学院	
開講時期:中期～後期	単位数:1 単位	時間数:30 時間	
授業の目的 健康障害のある子どもと家族が生活・療養するための看護実践に必要な知識・技術を身につける。			
授業の概要 子どもは身体機能が発達の途上にあることから大人よりも症状が出やすく、さらに重症化しやすいという特徴があります。子どもの解剖生理学的特徴を確認しながら、症状別看護を学習します。 子どもに看護を提供するうえで、その子の成長発達を捉えることは重要なポイントです。また、子どもの状態を一喜一憂しながら見守る家族の存在も忘れることはできません。臨地実習で出会う可能性の高いケアモデルを通して成長発達を踏まえたアセスメント力を養うとともに、家族も視野に入れた問題解決能力の基礎を培います。 また、子どもは認知理解力・対処能力の未熟さや生活体験の少なさから、療養生活での体験が心の傷として残る可能性もあります。子どもの持つ力を引き出し、医療体験を肯定的に捉えられるような関わりを、プレパレーションの演習を通し考えます。			
受講上の注意・事前学習の内容			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	子どもによくみられる症状と看護① 発熱 けいれん	講義	
2	子どもによくみられる症状と看護② 呼吸器症状 酸素療法	講義	
3	子どもによくみられる症状と看護③ 下痢 嘔吐 脱水 輸液療法	講義	
4	子どもによくみられる症状と看護④ 発疹 出血・出血斑	講義	
5	子どもによくみられる症状と看護⑤ アレルギー症状	講義	
6	子どもによくみられる症状と看護⑥ 痛み	講義	
7	ケアモデルによる看護過程	演習	
8	ケアモデルによる看護過程	演習	
9	ケアモデルによる看護過程	演習	
10	ケアモデルによる看護過程	演習	
11	ケアモデルによる看護過程	演習	
12	ケアモデルによる看護過程 交流会	演習	
13	検査や治療・処置等を受ける子どものためのプレパレーション	講義・演習	
14	検査や治療・処置等を受ける子どものためのプレパレーション	演習	
15	検査や治療・処置等を受ける子どものためのプレパレーション 交流会	演習	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門 小児臨床看護各論 医学書院 ブックライブラリー 根拠と事故予防からみた小児看護技術 第3版 医学書院			
参考書・指定図書 筒井真優美 小児看護学 ～子どもと家族の示す行動への判断とケア～ 日総研 ブックライブラリー 発達段階からみた 小児看護過程＋病態関連図 第4版 医学書院			
評価の方法 筆記試験 50%・看護過程演習 30%・プレパレーション演習 20% 合計 100 点で評価する。			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります